

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和6年度市営米田南住宅新築工事	階数	地上10F
建設地	福岡県福岡市東区馬出6丁目26番の一部	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	162 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2024年8月5日
敷地面積	3,293 m ²	作成者	㈱環境システム設計 豊田志保
建築面積	502 m ²	確認日	2024年8月5日
延床面積	3,373 m ²	確認者	㈱環境システム設計 神川あかね



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 周辺地域のまちなみや風景との調和を図りつつ、生活利便性を高めた緑豊かな居住環境となっている。 また、建物全体の一次エネルギー消費量を抑え、地球温暖化や環境にも配慮している。		その他 0
Q1 室内環境 F☆☆☆の建材を使用し、化学汚染物質の発生しにくい安全な室内環境を確保している。	Q2 サービス性能 居室の天井高2.5m以上を確保することにより、ゆとりのある空間を計画している。 また、給水・給湯の配管はさや管ヘッダーシステムの採用により、構造部材を痛めることなく修繕・更新が可能。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周囲に緑地を複数箇所設け、環境に溶け込みやすいデザインとしている。
LR1 エネルギー 断熱性能等級5を満たし、かつBEI値0.79と一次エネルギー消費量を低く抑え、エネルギー削減への配慮がなされている。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護を考慮し、超節水型便器を採用している。 また、有害物質を含まない材料やノンフロン断熱材を使用し、汚染対策にも配慮がなされている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の排出量の削減により、地球温暖化に配慮している。 また、広告物の照明なども行わないようにするなど、光害の抑制も図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される